青き楓

島高だより
平成 26 年 1 月号
（通巻第 94 号）
長崎県立島原高等学校
編集：情報図書部

校長随想　湧水抄

「異質」の中で生きる

校 長　北 浦 剛 資

島高生の「Ｓ」は「Science」のＳ。「違う」ことの意味を、前向きに捉えたい。

■同質性と多様性

お正月は家族や親戚に囲まれ、ゆっくりと過ごせたと思う。気を遣うこともなくほとんどの人にとっては居心地の良い空間だ。言わば同質性の中にいる安定感というか、気心が通じるということは、あくせくする必要もなく、時間が緩やかに流れる。一方、多様性の中に身を置くとそうはいかない。ヘテロ＝異質との交流は、決して心地良くはないし、誤解や偏見、対立や嫌悪が生じる可能性もある。価値観の異なる人と話を合わせるのは確かに苦労するし、面倒くさいと打っちゃってしまいたくなる気持ちもわかる。

■人を浴びて人となる

そもそも「生きる」とは、人生の中でさまざまな体験をしながら心豊かに成長することだ、と考えている。刺激のないよどんだ環境の中に浸かっていても、変容はあまり期待できない。安定志向は、心の安寧は図れても自分の殻を打ち破るエネルギーは生まれてこない。あえて異質の中に飛び込んでこそ成長が期待できるというものだ。考え方の違う人と議論する中で、初めは何とかして相手を論破しようと思っていても、意見を交わすうちに相手の言い分にも納得できる部分があり、新しい視野や発想を獲得できたというのもよくある話だ。山でも、人工的に植林された木々は暴風になぎ倒されてしまうが、多様な雑木林はしぶとく生き残るものだ。社会問題になっているいじめの原因も、結局は異質なものを排除する考えが根底にあると思う。十人十色、地球上に何十億の人間がいてもみな顔が異なるように、違っているのが当たり前。それを受け入れようとしない頑なな態度こそ、大きな問題をはらんでいる。学校は、言うなれば異質な人間の集合体、ある意味これほど恵まれた環境はない。人は、人を浴びて人として成長していくものだ。

〔３学期始業式・校長訓話より〕

２月の主な行事予定

１日（土）	土曜講座（全学年）小論文模試（２年） 東大模試（２年　諫早会場）
２日（日）	トップレベル模試（１・２年）
４日（火）	推薦入学者選抜検査場設営
５日（水）	推薦入学者選抜　生徒自宅学習
６日（木）	高校島原半島美術展（～１１日）
８日（土）	土曜講座（１・３年） 進研マーク模試（２年～９日）
１２日（水）	小論文講演会（２年 LHR）
１３日（木）	学年末考査時間割発表 雲仙１００年の森卒業記念植樹
１５日（土）	土曜講座（全学年）
１７日（月）	ＰＴＡ評議員会・専門委員会
２０日（木）	学年末考査（１・２年～２５日）
２２日（土）	土曜講座（３年）
２６日（水）	代休（３／１代休）
２７日（木）	卒業研究発表会（３年）
２８日（金）	卒業式予行　卒業記念品贈呈式 同窓会入会式

受験シーズン到来！　頑張れ66回生!!

３学年主任　酒井太一

大学受験の本格的なシーズンがやってきました。推薦入試や専門学校等の入試は、早いところでは９月から始まっていますが、「大学入試センター試験」を経て、いよいよ本格的な受験シーズンを迎えます。本校では約１８０名の生徒が長崎大学で実施された試験に挑みました。出発日に行われた「出陣式」では、校長先生とＰＴＡ会長さんから激励をいただき、また下級生による温かい見送り等、多くの方々に支えられていることを改めて実感しました。本当にありがとうございました。現在、生徒たちは特別編成授業のもと、意欲的に学習に取り組んでいます。国公立大志望者は前期試験 2/25、後期試験 3/12 が中心日です。私立大入試は１月末～２月上旬にその多くが行われ、看護学校志望の生徒もほぼ同時期に各地の学校を受験します。６６回生全員の進路実現に向けてバックアップしていきます。保護者の皆様には、生徒たちの健康管理など、もうしばらくご協力をお願いいたします。

出陣式

北浦校長からの激励

センター試験会場

ホテルでの夕食

出陣式での関の声

地学講座研究発表

１年理数科副担任　森下　忠道

今年度最後となる１／２１（火）の地学講座は、これまで１年間学んできた内容を研究発表という形で実施しました。島原の歴史や地層の形成、湧水についてなど、写真や地図など上手く利用し、一人ひとりが工夫を凝らして発表に臨んでいました。発表後は生徒一人ひとりに対して、雲仙岳災害記念館に勤務されている講師の寺井先生から講評をしていただきました。

今年度実施された地学講座および研究発表を通じて、１年生理数科の生徒達は、２年生での課題研究の参考になる良い取り組みとなったようです。寺井先生には、お忙しい中１年間熱心な御指導をしていただき、本当にありがとうございました。

５年ぶりに復活!! 校内マラソン大会

１月２８日（火）、第３８回校内マラソン大会が開催されました。過去４年間はマラソン大会に代わり「まゆやまロード健脚大会」を実施しており、５年ぶりのマラソン大会開催となりました。

天候に恵まれ暖かな日差しの下、島原市営陸上競技場外周を、男子は８㎞、女子は５㎞走りました。アップダウンが激しいコースに苦しい表情を見せながらも、生徒たちは懸命にゴールを目指しました。上位入賞を目指して必死に走る者、完走を目指してマイペースで走る者など様々でしたが、それぞれの目標に向かって走り切り、無事大会を終えることができました。ゴール後は学校に戻り、保護者の方が準備して下さった豚汁を美味しく頂き疲れた体を癒すことができました。炊き出しにご協力頂いた保護者の皆様、ありがとうございました。

【１年生男子】
１位　山村　尚耶
２位　小川　祐二
３位　本田　創大

【２年生男子】
１位　土手野佑介
２位　永田　　駿
３位　宮野　幹大

【１年生女子】
１位　德永　香子
２位　上村千愛里
３位　竹田　真琴

【２年生女子】
１位　金本　　桜
２位　前田　真愛
３位　原田　　叶

選手宣誓（金本桜さん）

地獄の登り坂

感動のゴール（２年生１位土手野くん）

主な部活動実績等

○レスリング部

第２４回ひむか杯・高等学校レスリング競技
九州選手権大会
カデットの部
　５８㎏級　第３位　喜多　豊和
　100 ㎏級　**第１位**　濱本　大徳
ジュニアの部
　５５㎏級　第３位　佐藤　輝翔

○剣道部

第１４回全国高等学校よさこい高知国体開催記念大会
　男子団体　第３位
　女子団体　**優　勝**
全国高等学校選抜剣道大会長崎県予選大会
　男子団体　**優　勝**
　女子団体　**優　勝**
　最優秀選手
　　藤野聖那　堤麻衣子
　優秀選手
　　牧島凜太郎　進藤暖佳

学校評価　～よりよい島高へ～

学校評価アンケートは、年に２回(７月と１月)に実施しています。毎回ご協力ありがとうございます。今年度の結果についてご報告いたします。詳細については整理をした後、ホームページへの掲載を予定しています。

評価は４段階（４：よくあてはまる、３：あてはまる、２：あまりあてはまらない、１：あてはまらない）で回答する形式で実施しました。

（１）生徒の評価

考察１　**肯定的評価(評価４と３の合計)が７月とあまり変わっていない項目でも、評価４が増えている傾向がある。【　】内は７月→１１月での評価４の増加**

【＋１２】◇先生は、一人ひとりの生徒の学習状況などを把握し、進路実現のために努力している。
【＋１０】◇清掃活動（掃除の時間）は積極的に取り組んでいる。
【　＋９】◇先生は、生徒の心身の健康状態の把握に努め、健康面の管理にも配慮している。
　　◇先生は、進路に関する情報を適切に提供してくれる。
【　＋８】◇学校は、教育方針や育てたい生徒像をはっきり示している。
　　◇先生は、生徒の悩みなどに親身になって相談にのってくれる。

考察２　**広域から通学していることもあり、家庭学習時間の確保が今後の課題である。**

◇学年に応じた家庭学習をしている。（１年生：３時間、２・３年生：４時間）

評価	4	3	2	1	4＋3
７月	9	33	44	14	42%
１１月	16	37	35	12	53%

（２）保護者の評価

考察３　**すべての項目で、肯定的な回答(評価４と３の合計)が８０％を越えている状況で、現在の教育活動が理解されていると思われる。**

（３）教職員、生徒、保護者の評価の比較（数字は、評価４と３の合計）

★　教職員の自己評価より、生徒や保護者の評価が低い項目
◇先生は、マナー・服装などについて、適切な指導をしている。
　　教職員：１００，生徒：９１，保護者：９１
◇先生は、生徒の心身の健康状態の把握に努め、健康面の管理にも配慮している。
　　教職員：１００，生徒：８７，保護者：８１
◇先生は、生徒の悩みなどに親身になって相談にのってくれる。
　　教職員：　９８，生徒：８８，保護者：８２

考察４　**生徒、保護者の評価も高いものの、まだ改善の余地が考えられる。**

これらの結果をもとに、来年度の学校経営や進路指導・生徒指導等に活かし、よりよい島高づくりに取り組みます。今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

アンケートへのご協力ありがとうございました。